

1	事業名称	幼稚園等新規採用教員研修				
2	新規・継続	継続	6年目			
3	趣 旨	幼児期に必要な自然体験活動や集団活動の基本的な知識を学び、自主性や創造性など幼児教育指導者としての資質の向上を図る。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	8月5日	～	8月7日	2泊3日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	(長野県私立幼稚園新規採用者全員)				
7	共催・協力・後援	共催：長野県教育委員会 後援：長野県私立幼稚園協会				
8	参加者人数	49人				
9	参加者類型	長野県内幼稚園等新規採用教員49人				
10	参加者地域	長野県49人				
11	参加者分析	長野県内幼稚園等新規採用教員49人				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		100%	0%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教師が各地から集まり自分の悩みなどをお互いに話し合ったり、相談し合ったりすることができ、とてもよい研修となった。 ・冒険の森の運動遊び(プレイホール編)は、実際に自分の身体を動かして行うことで、子どもたちがどのように感じるか、動けるのかなどを考えることができてよかった。 ・自然体験をするときの安全管理について十分な配慮が必要であると感じた。 ・研修を通して人と関わることの大切さ、素晴らしさをあらためて感じることができ、充実した3日間だった。 				
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・講義や実習、グループ討議を通して、現代の幼児教育課題や幼児・児童期に必要な自然体験活動について、学んでもらうことができた。 ・「冒険の森」(プレイホール)での運動遊びの活動では、子どもたちに必要な運動遊びの理論と実践について学ぶ機会を提供することができた。 ・「もちつき」や「おやき」の食文化体験では、つくり方だけでなく、由来についても詳しく学ぶことができた。また、キャンプファイヤーの実習を通して、参加者同士の交流も図ることができた。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は連絡協力を促進する事業として実施しており、当所担当の講義・演習・実習は、主催者・参加者から好評を得ている。さらに研修の質の向上に資するため、主催者との打ち合わせを密にしたり、当所のプログラムの質的向上につとめたりしていきたい。 ・本事業を通して、参加者同士の情報交換を図る場となっているが、保育士同士のネットワークの構築の他に、研修後の幼稚園・保育園と当所との連携に繋げていくことも望まれる。 				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の「自然体験活動プログラム」は、雨のため「冒険の森」での活動ができなかったため、プレイホールで行った。 ・講義内容は①冒険の森遊びの理論的な裏付け ②受講者が実際に行う体験活動 ③子どもへの支援の仕方や声かけなどについて体験的に学ぶ機会を設けた。今後も、自然体験を中心に据えた研修内容の充実を図っていきたい。 				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考（講師等）
1日目		
12:00～14:00	開講式・オリエンテーション・昼食	
14:00～15:00	講義「幼児期の人権教育」	教学指導課 指導主事 馬場 英晃
15:00～16:00	グループ協議Ⅰ「1学期をふりかえって」	教学指導課 指導主事
16:00～17:00	係会	
20:00～21:00	交歓会	
2日目		
9:00～12:00	グループ協議Ⅱ「わくわく楽しい保育づくり」 ～もしこんなクラスを担当したら～	教学指導課 指導主事
13:00～17:00	講義①「幼児が楽しめる自然体験活動」 演習②「冒険の森 運動遊び」	松本短期大学 内地留学生 関 浩司・山浦 博也 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職 米林 尚希
19:00～20:30	野外活動「キャンプファイヤー」	
3日目		
9:30～12:00	実技「食文化体験活動」 (もちつき・五平もち・おやき)	国立信州高遠青少年自然の家 外部研修指導員
12:20～12:40	閉講式	

17



講義①「幼児が楽しめる自然体験活動・運動遊び」



演習②「冒険の森(プレイホール) 運動遊び」